

インターネットモニターアンケート調査票

| | | |
|------------|---|------|
| アンケート調査名 | 地域福祉に関するアンケート | |
| 調査実施期間 | 平成26年8月1日～7日 | |
| 調査対象者 | モニター登録者約4,000人（市内在住の満15歳以上の方） | |
| 概要 | <p>地域福祉について、皆様の考え方や行動についてお聞かせいただき、今後の施策の検討資料に活用させていただきます。</p> <p>※地域福祉とは、地域における福祉課題を地域住民等が「支え合い」・「助け合い」等の活動を行い、課題解決のため協力して取り組むものです。</p> | |
| 結果公表時のお礼文章 | アンケートにご協力いただきありがとうございました。皆様から頂いたご回答を、今後の地域福祉推進のための参考資料として活用させていただきます。 | |
| Q1： 設問 | お住まいの地域では、地域福祉活動が行われていますか。 | |
| 回答条件 | いくつでも | |
| 選択肢 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報提供 ・ひとり暮らしのお年寄りの安否確認や話し相手 ・地域内の防犯パトロール ・家事手伝い、簡単な大工仕事（ごみ出し、庭木の手入れ、家財道具の修理） ・病院など外出時の付き添い ・買い物の代行 ・育児サークル ・その他の活動 ・行われていない | |
| 設問意図 | 地域福祉活動の認知状況を把握した後、前回調査時（5年前）と比較し、第2期計画の推進によりどのような活動の認知が拡大したのかを把握する。 | |
| Q2： 設問 | お住まいの地域で、地域福祉活動を行っている人たちは、どのような方ですか。 | |
| 回答条件 | ※「社会福祉協議会」とは、法律に基づいて地域福祉の推進を図ることを目的として設立された民間の福祉団体。同会の趣旨に賛同し、地域での活動を行うために組織された団体を「地区部会」と呼び、現在市内67団体組織されている。 | |
| 回答条件 | いくつでも | |
| 選択肢 | <ul style="list-style-type: none"> ・近所の人 ・友人、知人 ・民生委員・児童委員 ・町内会、自治会 ・老人会、老人クラブ ・千葉市社会福祉協議会地区部会 ※ ・ボランティアグループ、NPO ・その他 | |
| 設問意図 | 各団体等の活動の認知度を把握した後、前回調査時（5年前）と比較し、第2期計画の推進によりどのような団体の活動の認知が拡大したのか把握する。 | |
| Q3： 設問 | ご近所との関係について、望まれる関係はどのようなものですか。 | |
| 回答条件 | 1つだけ | 入力必須 |
| 選択肢 | <ul style="list-style-type: none"> ・なんでも相談し、助け合いたい ・簡単な頼みごとができる関係がよい ・挨拶する程度でよい ・まったくつき合わずに生活するのがよい | |
| 設問意図 | 身近なエリアでの共助についての住民の意識を把握した後、前回調査時（5年前）と比較を行い、第2期計画の推進によりどのように住民の意識が変化したのか把握する。 | |

| | | |
|---------|---|------|
| Q4 : 設問 | 支援を必要とする方のために、地域福祉活動に参加することができますか。 | |
| | 1つだけ | 入力必須 |
| 回答条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・すでに活動に参加している ・今後、参加したいと思っている ・時間に余裕があれば参加したい ・交通費など実費が出れば参加したい ・実費に加え、少額でも報酬があれば参加したい ・関心はあるが、どうしたらよいかわからない ・関心がない | |
| 選択肢 | | |
| 設問意図 | 市民の地域福祉活動への参加に関する意識を調査した後、前回調査時（5年前）と比較し、第2期計画の推進により住民の意識がどのように変化したのか把握する。 | |

| | | |
|---------|--|------|
| Q5 : 設問 | 地域福祉活動において、どのような支援ができますか。 | |
| | いくつでも | 入力必須 |
| 回答条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の情報提供 ・ひとり暮らしのお年寄りの安否確認や話し相手 ・地域内の防犯パトロール ・家事手伝い、簡単な大工仕事（ごみ出し、庭木の手入れ、家財道具の修理） ・病院など外出時の付き添い ・買い物の代行 ・育児サークルの手伝い ・その他の支援 ・できない | |
| 選択肢 | | |
| 設問意図 | 参加可能な地域福祉活動について調査した後、前回調査時（5年前）と比較し、第2期計画の推進により、住民が支援可能と考えている活動の拡大状況について把握する。 | |

| | | |
|---------|---|------|
| Q6 : 設問 | 市民が地域福祉活動を行うためには、どのようなことが必要だと思いますか。 | |
| | いくつでも | 入力必須 |
| 回答条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動についての情報提供 ・身近な活動拠点 ・表彰などの仕組み ・多少の実費や報酬 ・ボランティア休業などの制度 ・研修や講演会の開催 ・リーダーなどの人材育成 ・イベントなどの開催 ・ボランティア体験などの開催 ・特に必要ない ・わからない | |
| 選択肢 | | |
| 設問意図 | 地域福祉活動に参加するための条件等を把握し、活動を活発にするために必要な施策を検討する。 | |

| | | |
|---------|--|------|
| Q7 : 設問 | 地域福祉の推進を目的とする、千葉市社会福祉協議会が行っている各種事業のなかで、知っているものはどれですか。 | |
| | いくつでも | 入力必須 |
| 回答条件 | <ul style="list-style-type: none"> ・地区部会活動への支援 ・ボランティア活動の推進（ボランティアセンターの運営） ・資金の貸付（生活福祉資金・社会福祉事業資金） ・寄付金の募集（赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金など） ・あらゆる悩みごと・困りごとに対する相談（心配ごと相談所の運営） ・広報啓発活動（社協だより、標語・ポスター・作文コンクール 等） ・日常生活自立支援事業（成年後見支援センターの運営） ・その他 ・特に知っている事業はない ・社会福祉協議会を知らない | |
| 選択肢 | | |
| 設問意図 | 地域福祉の最大の担い手であり、第3期各区地域福祉計画においては計画策定からその後の推進においても中心的な役割を果たすこととなる社会福祉協議会が行う事業が、地域にどれだけ浸透しているかを調査する。 | |